

建築物概要書

(書式-2)
 (HPより最新版をダウンロードして使用のこと) 2022.01.31改訂

A4印刷の余白設定⇒

建築物概要	件名	○○○○○○○○○○○○○○新築工事		
	建築場所	○○県○○市○○*丁目**-*		
	建物用途	事務所/店舗		
	地域指定	<input type="checkbox"/> 防火	<input type="checkbox"/> 準防火	<input type="checkbox"/> 無指定 (どれか一つの口を■にしてください。)
面積	敷地面積	59,000.00 m ²	建築面積	1,850.00 m ²
	延床面積	28,500.00 m ²	基準階面積 (5階)	2,980.00 m ²
階数	地下: 1階、	地上: 12階、	搭屋: 1階	
高さ・スパン	軒高	44.50 m	建築物高さ	44.50 m
	最高部高さ	51.00 m	基準階階高 (5階)	3.60 m
	1階階高	4.50 m	標準スパン X: 9.60 m Y: 9.60 m	
	建築物の幅高さ比 (建築物の高さ/幅)	長辺方向: 0.61 = (44.50 / 72.50) 短辺方向: 1.55 = (44.50 / 28.80)		
地業形式	杭基礎			
基礎構造	独立基礎			
構造形式/構造種別 (地上階)	X方向:	ラーメン構造	S造(柱CFT)	
	Y方向:	ラーメン構造	S造(柱CFT)	
構造設計上の特色	中間免震構造を採用し、地下階について、基礎躯体～免震ピットはRC造、免震上部躯体～1階床はSRC造、地上階はS造となっている。エントランスホール廻りが1、2階吹抜け部で大梁の無い長柱となっている。			
柱・大梁断面形状及び材料	鋼管柱:	□-750×750×22~36(BCP325B; CFT柱) □-350×350×22(BCR295; 鉄骨柱)		
	鉄骨大梁:	BH-700~1200×350~500×14~22×22~40(SN490B) BH-700~1200×350~500×14~22×22~40(SN490B)		
造	コンクリート:	充填コンクリート: Fc 42、60 被覆コンクリート: Fc 36 一般コンクリート: Fc 24、36		
	鉄筋:	D10~D16(SD295A)、D19~D25(SD345)、D29~D25(SD390)		
	耐力壁・その他	鉄筋コンクリート造耐力壁		
柱・大梁接合部の形式	柱継手:	現場溶接 (その他の場合、この文を消して具体的に記入してください)		
	柱・大梁接合形式:	(使用している形式の前の口を■にしてください) <input checked="" type="checkbox"/> ブラケット方式 <input type="checkbox"/> ノンブラケット方式		
	柱・大梁接合部	フランジ	工場溶接 現場溶接	
		ウェブ	工場溶接 (選択してください)	
大梁継手部	フランジ	高力ボルト接合	—	
	ウェブ	高力ボルト接合	—	
床形式	フラットデッキスラブ			
非耐力壁	外壁	押出成形セメント板壁	内壁	軽量鉄骨間仕切り壁
耐火被覆	吹付ロックウール (その他を選択した場合、この文を消して具体的に記入してください)			
無耐火被覆CFT造柱の有無	(選択してください)	耐火性能評価(ルートC)		
施工計画上の特色	CFT造コンクリート充填 落とし込み充填工法: 1FL+1,730~1FL+650 (Fc60; 1FL+1,000の高さに設けている柱継手部から2工区に分けて充填) 圧入工法(1回目): 1FL+650~6FL+1,100 (Fc60; 3工区に分けて充填)、圧入口中心高さ: 1FL+1,500 圧入工法(2回目): 6FL+1,100~RFL (Fc42; 3工区に分けて充填)、圧入口中心高さ: 6FL+1,200			

部分は記入、 部分は選択をしてください。記入後着色を消してください。

← (件名): 件名を記入 **・建築物概要は、確認申請の内容を記入してください。原則としてこの書式は修正しないでください。**

← (建築場所): 所在地の住所を記入

← (建物用途): 主な用途を記入

← (地域指定): どれか一つを選択のこと

← (面積): 各面積は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (階数): 階数を、着色部にそれぞれ整数で記入のこと(書式を指定済み)

← (高さ・スパン): 軒高、建築物高さ、最後部高さはGLからの高さを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み) 基準階階高は、着色部に代表的な階を記入し、数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)、1階階高は、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み) 標準スパンは各方向の代表的なスパンを、着色部に数値で小数点以下2位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (建築物の幅高さ比): 1階の建物の各方向の幅を、着色部に数値で小数点以下1位まで記入のこと(書式を指定済み)

← (地業形式): 着色部のメニューから選択のこと

← (基礎構造): 着色部のメニューから選択のこと

← (構造形式): 各方向毎に着色部のメニューから選択のこと

← (構造種別): 各方向毎に着色部のメニューから選択のこと

← (構造設計上の特色): 構造設計上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください

← (鋼管柱): (種類が多い場合は、CFT造柱の断面形状を記入のこと) 外形断面の大きさが3種類以下の場合、□-800×800×22~32(BCP325)のように3段(上の段を使用)に記入してください 外形断面の大きさが4種類以上の場合、主な2種類を上記のように、残りを□-800~700×800~700×22~32(BCP325)のように記入してください

← (鉄骨大梁): (種類が多い場合は主要な断面形状のみで良い) 外形断面の大きさが2種類以下の場合、BH-1000×300×9~16×19~32(SN490)のように2段に記入してください 外形断面の大きさが3種類以上の場合、BH-900×200×9×19~BH-1000×400×16×32(SN400、SN490)のように記入してください

← (CFT充填コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合上の段に記入のこと)

← (CFT被覆コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合上の段に記入のこと)

← (躯体コンクリート): 着色部に数値を記入のこと(5種類以上の場合上の段に記入のこと)

← (鉄筋): 鉄筋径別に「D10~16(SD295A)、D19~25(SD345)、D29~32(SD390)」のように記入してください

← (耐力壁その他): 主な耐震要素を着色部のメニューから選択のこと(複数ある場合は主なものを選択のこと)

← (柱継手): 着色部のメニューから選択のこと

← (柱・大梁接合形式): 着色部のメニューから選択のこと(両方選択可)

← (柱・大梁接合部): 各形式毎にフランジ・ウェブそれぞれのデフォルト値を

← (大梁継手部): フランジについて、ブラケット方式の場合は着色部のメニューから選択のこと、ノンブラケット方式の場合はデフォルト値を入力済み

← (大梁継手部): ウェブについて、着色部のメニューから選択のこと

← (床形式): 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)

← (非耐力壁): 外壁及び内壁それぞれについて、着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと)

← (耐火被覆): 着色部のメニューから選択のこと(複数当てはまる時は一番多いと思われるものを選択のこと); その他を選択した場合は具体的に記入のこと

← (無耐火被覆CFT造柱の有無): 着色部のメニューから選択のこと、「有」の場合ルート等を着色部のメニューから選択のこと

← (施工計画上の特色): 施工計画上の特色を簡潔にできるだけ具体的に記入してください (圧入か落とし込み充填か? ; 高さ方向のFcの割り付け; 圧入口取り付け位置; 斜め柱、長方形断面柱等、その他CFT柱に関する特殊な事項等)

